

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会

PAGES小委員会（第25期・第1回）議事録

日時：令和3年9月27日（月）15:00～16:30

会場：遠隔会議（主催会場：島根大学）

出席者：連携会員 阿部彩子，齋藤文紀，長谷部徳子、その他 入野智久，川村賢二，佐川拓也，多田隆治，長島佳菜，中塚 武，山田 桂，横山祐典，吉森正和

欠席：財城真寿美，平野淳平，

議事内容

- 1) 役員の選出：委員長に齋藤文紀連携会員、副委員長に阿部彩子連携会員，中塚 武委員，横山祐典委員，幹事に入野智久委員，長島佳菜委員が選出された。
- 2) 議事要旨の委員長一任について：議事要旨はメールにより小委員会内で確認後、委員長に一任されることが承認された。
- 3) 自己紹介と PAGES との関わり：第1回の会合であること，今期から大幅にメンバーが変更になったことから，委員の自己紹介と PAGES との関わりに関して報告があった。
- 4) 今期の活動について：

PAGES のメーリングリストは 250 名以上が登録されており，北海道大学の入野会員のところでホームページと共に管理されている（URL：<https://pablos.ees.hokudai.ac.jp/japanpages/>）。これらのシステムを最大限に活用して，国内外の PAGES の活動を周知する必要がある。特に今年は PAGES の 30 周年であることから，国内の関連する学協会に PAGES-Japan の活動・メール配信登録などをお願いすることになった。

PAGES-Japan の活動が Future Earth の GRP の一つとして見えるように Future Earth 日本のホームページにリンク依頼することになった。

PAGES-Japan の活動として，JpGU 大会などの古環境セッションと共催し，PAGES-Japan の活動を盛り上げてゆくことになった。

国際的に取り組まれているプロジェクト等に日本から組織的に人を送ったり，支援する必要がある。これらは意識的に取り組む必要があり，本小委員会の重要な役割の一つであることから，継続して議論してゆくことになった。

長期的な視野の下に，若手，特に学生に対して，PAGES の国際プロジェクトへの参画，他国の研究者との連携を目途とした取り組みを行う必要がある。若手の海外への派遣，国内で国際集会を開いて海外の研究者の招聘など，若手が世界の研究者と接する機会を継続

して提供できるようにし、次の世代につながる仕組みが必要であるとの意見があった。
PAGES から会合支援もあるので、PAGES 関連集会の国内開催など、今後も継続して検討することになった。

PAGES の SSC への日本からの代表と国内委員会の代表者が、どのような体制で取り組むかは今後も継続して議論することになった。

PAGES の SSC については、横山委員以来日本から委員が出ていない。次回の公募情報を見て該当する専門家を日本から推薦することになった。

会議の開催頻度：年に 2～3 回程度開催し、PAGES 関連活動の活性化をはかることになった。次回の開催は、PAGES の SSC の委員推薦を考慮して、来年の 1-3 月に開催することになった。